

シグマ委員会炉定数ベンチマーク作業グループ議事録

場 所 原研東京本部第3会議室
日 時 9月17日(13:30~17:00)
出席者 大竹(富士), 関(MAPI, 菅原代), 松延(住友), 飯島(NAIG)
桂木, 石黒(原研)

配布資料 各研究機関から提出されたベンチマーク作業結果

議題1 ベンチマーク作業の経過報告

- 計算に要した計算費用についての打ち合せを行なった後, 各研究機関より計算方法とその結果についてそれぞれ次のような説明があつた。
- 原研(桂木)
 - 最初に作られたJAERI-FASTセットと今回の作業で用いられた主なる相異点の説明があり, 既して light elements に対する material worth が悪いとの報告があつた。
- NAIG(飯島)
 - NNS-5セットとABBNセットとの相異点の簡単な説明があり, この場合も light element に対する material worth があまり良くないとの報告があつた。
- 住友(松延)
 - ABBNセットを用いたEXPANDA-IIでの計算結果の説明があつたが, NAIGで行なつた結果と¹⁶Oのworthが可成り異なることが報告され, light element に対する worth の計算法を再検討すべきではないかとの議論が行なわれた。
- MAPI(関)
 - ABBNセットに対する修正点及びf-tableの内ソウ法の説明があつた。
- 富士(大竹)
 - 用いた研定数セットの内容と計算結果についての説明があり, まだ出て

いない核種のmaterial worth は後ほど提出するとのことであつた。

議題2 結果のまとめについて

まとめ方に関する議論が行なわれ、次のような点で意見の一致が得られた。

- (1) 実験結果のあるものについての計算結果は全てプロットしてまとめることにし、整理作業は原研で行う。
- (2) 各機関で用いている計算法、 ν や X 等のデータの値についての簡単な説明をのせることにする。
- (3) 重要な核種の断面を提出していただいてグラフにし、後の問題整理のための資料とする。

以 上

次回予定 11月上旬